

# 統計調査ニュース

平成25年(2013)6月

No.319



## 家計統計の重要性について ～トレンドはサービス化と高齢化～

第一生命経済研究所 経済調査部 主席エコノミスト 永濱 利廣

我が国のGDPに占める個人消費の割合は6割に上り、経済成長の動向を大きく左右します。そのため家計統計に対する重要性は高まっています。一般に、個人消費を左右する家計所得は景気変動に対して緩やかに動くことから、個人消費は他の需要項目に比べて安定した動きを示します。このため、景気が後退している局面でも個人消費が景気の下支えをする局面がよく見られることから、個人消費は景気の力強さを決める要素となります。

家計統計の中で最も一般的なのは、世帯の収入と支出の動向について毎月公表される総務省「家計調査」です。家計調査は、全国の約9,000世帯に対し、1か月間の全ての収入と支出について家計簿を記入してもらい、金額を集計したものです。このため、世帯当たりの消費支出について詳細な品目や世帯主の年代を始め、様々な区分から網羅的に把握できます。そのため利用価値が非常に高く、家

計動向を見る上でも重要な判断材料とされています。実際、「家計調査」で最近の動きをみると、消費支出の前年比プラス幅が拡大傾向にあり、景気の先行き期待感の高まりや円安・株高等を背景に個人消費は堅調に推移しているとされています。

一方、家計統計を見る上では、人口構成の変化も重要性が高まっています。なぜなら、既に我が国では少子高齢化が急速に進んでおり、特に昨年から本格化している団塊世代の退職が消費構造をどう変化させるかが注目されているからです。このため、今後の個人消費を見る上では高齢者層の動きが一つの鍵を握っていますが、年代別の消費動向が分かる経済指標としても、総務省の『家計調査』が最も代表的です。

そこで、2012年における世帯一人当たりの消費支出を費目別に世帯主の年代で比較すると、交通・通信費や教育費等では世帯主が60代の世帯が同50代の世帯を大きく

下回っている一方で、保健医療費が50代の世帯を大きく上回っていることが分かります。これは、高齢化によって病気や怪我をする可能性が高まるためだと考えられます。また、スポーツクラブの入会や旅行に出かけるシニア層も増えていることから、教養娯楽費も50代世帯よりも60代世帯の方が高くなっています。更にリフォーム等の住居費についても、50代世帯を大きく上回っています。

団塊世代は人数が他の世代に比べて極端に多いことからすれば、今後は健康や教養娯楽、リフォーム等の消費支出のシェアがより高まることが予想されます。このように、家計の実勢を判断するには、家計調査の消費支出全体を見るだけでなく、消費の構造が大きく異なる年齢階層別の収支状況も合わせて見るのが重要でしょう。

### 目次

家計統計の重要性について ～トレンドはサービス化と高齢化～	1	家計調査(貯蓄・負債編)平成24年平均結果速報の概要	6
「4月24日(水)住宅・土地統計調査の広報がキックオフ!」	2	統計データの二次利用について	7
平成25年住宅・土地統計調査の実施に向けて	3	リニューアルオープンー統計資料館の御案内ー	8
「なるほど統計学園」に高等部を開校しました!	4	政令指定都市発とうけい通信®	9
第61回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています	5		

# 「4月24日(水)住宅・土地統計調査の広報がキックオフ！」



住宅・土地統計調査の実施に向け、国、都道府県及び市町村が連携し、効果的な広報活動を進めていくために、都道府県の担当者を招いて

「広報事務打合せ会」を開催しました。

まず、国勢統計課の広報担当から、今後実施する広報活動全体の概略、単身世帯等の若年層やプライバシー意識の高い世帯をターゲットの一つとした広報方策、統計局HPを情報発信の拠点とする広報展開、統計局ブランドの醸成・相乗効果の獲得による訴求拡大等について説明しました。

具体の広報活動については、広告代理店から以下の説明がありました。

- ・テレビやインターネット等の各種広報において、統計局HPへの誘導を実施
- ・センサスクンの利活用、統計局共通パートの作成・導入
- ・知名度の高い有識者が参画したインターネットコラムの構築
- ・強力で好インパクトのあるタレントの起用 など

また、今後、地方公共団体において広報の企画・制作等を行う際、その活動を全面的に支援することや、国と地方における広報の役割区分（例えば、新聞広告については、全国紙は国で、地方紙は地方で実施等）について話があり、企画の豊富さと説得力のある話に、都道府県の皆さんからは安心した表情がこぼれていました。

次に、広報活動の一環として、全国規模の組織からなる住宅・土地関連の業界団体や国家公務員住宅を所管する関係府省などに対する「協力依頼」について説明しました。当該関連団体・機関等の地方組織、支部組織を含めた組織全体を対象に協力依頼を行うため、地方公共団体の皆様に協力を依頼するとともに、従来から実施してきた依頼先施設・庁舎等へのポスター貼付、発行広報誌への記事掲載、団体等HPからの統計局HPへのリンクなどに加え、広報用グッズにより、より効果的な協力依頼を実施していくことを説明しました。

また、地方公共団体が広報活動を円滑に実施できるよう、広報マニュアル等を配布・説明し、様々なメディアを有効に活用するための方策や注意点、充実した広報計画の策定方策、スケジュール管理の重要性等について御理解いただきました。



調査のはなし 広報用リーフレット

## 住調広報タレントは

**AKB48の大島優子さんに決定！**

今回の広報活動の総合企画を担当する広告代理店から、テレビ、ラジオ、新聞、インターネット広告、キャンペーンサイト、広報用ポスターなど、広報活動の全体パッケージについて説明がありました。

その中で、平成25年住宅・土地統計調査の広報タレントを、国民的アイドルグループであるAKB48の大島優子さんに決定したとの発表があり、サプライズとして、大島優子さんからのビデオメッセージが上映され、出席者から驚きの声が上がりました。

## NHK サッカー解説等でおなじみの山本昌邦さんから

**調査担当者へ激励の言葉を頂きました！**

会議の締めくくりとして、NHKのサッカー解説等でおなじみの山本昌邦さんとフリーアナウンサーの日々野真理さんをお招きして、トークセッションが開かれました。



その中心となった話題は、1996年のアトランタオリンピックでサッカー日本代表コーチとして御活躍されていたときのエピソードの中

から、当時、優勝候補と言われていたブラジル代表を日本代表が破った、いわゆる「マイアミの奇跡」の解説でした。奇跡とまで言われた勝利が、実は膨大なデータ収集の積み重ねと緻密な分析による裏付けをもって導かれた結果であり、我々が実施している統計調査・統計業務と同様に、スポーツの世界でもデータの収集と分析の重要性が認識されているという興味深いお話でした。

また、これまでに例のない人口減少社会を迎えるかもしれない日本の未来を開拓していくためには、その基盤となる統計調査が果たす役割はとて大きく、その統計を作成する皆さんに、日本の将来が託されていると言っても過言ではないとの激励を受けました。これらのお話に、集まった皆さんは熱心に耳を傾けるとともに、心に誓う何かが芽生えたような感じでした。

最後に、調査に係る広報の“キックオフ”という大事な一歩を踏み出した日に、“皆さん頑張ってください！”という力強いエールを頂き、会議の終了を迎えました。



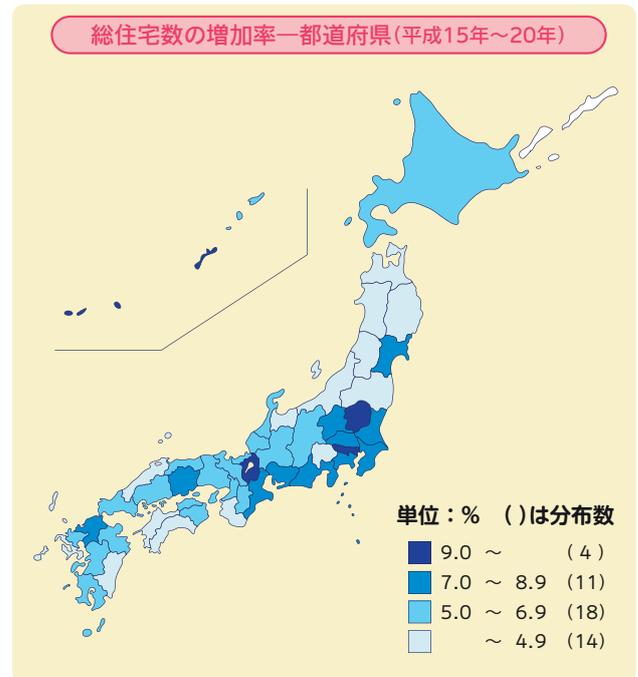
# 平成25年住宅・土地統計調査の実施に向けて

## 調査結果からみるわたしたちの住まいの様子②

### 総住宅数の増加率が最も高い滋賀県

総住宅数を都道府県別にみると、東京都が678万住戸と最も多く、次いで大阪府が435万住戸、神奈川県が407万住戸、愛知県が313万住戸などとなっています。一方、鳥取県が25万住戸と最も少なく、次いで島根県が30万住戸などとなっており、鳥取県の総住宅数は東京都の総住宅数の約27分の1となっています。

総住宅数は、平成15年～20年の5年間に、全ての都道府県で増加しています。増加数を都道府県別にみると、東京都が59万住戸と最も多く、次いで神奈川県が32万住戸、愛知県が23万住戸、大阪府が22万住戸などとなっています。増加率では、滋賀県が12.6%と最も高く、全都道府県で唯一10%以上増加しています。次いで、東京都が9.6%、栃木県が9.1%などとなっています。

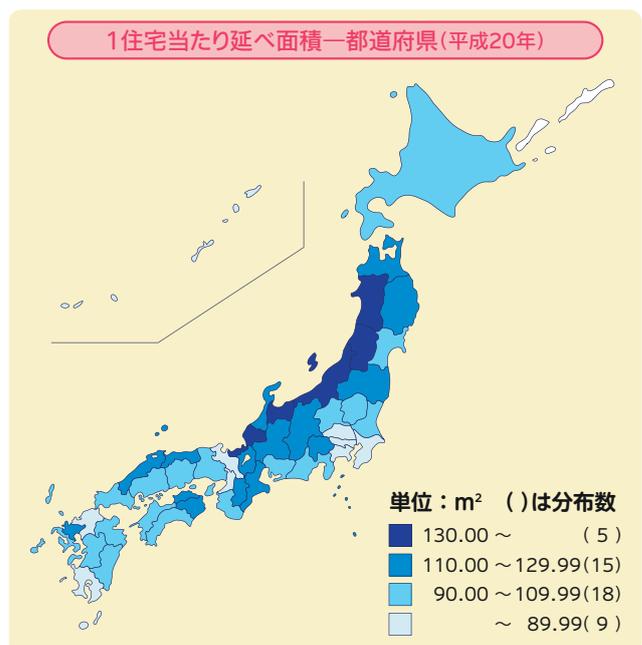


住宅の広さ

### 住宅規模の大きい日本海側の各県

1住宅当たり延べ面積を都道府県別にみると、富山県が151.37㎡と最も広く、次いで福井県147.99㎡、秋田県139.84㎡、山形県138.06㎡、新潟県133.76㎡と続き、この日本海側の5県が130㎡を超え、全国平均の94.13㎡を大幅に上回っています。

一方、最も狭いのは東京都の63.94㎡で、大阪府74.78㎡、神奈川県76.46㎡と大都市を含む県では規模が小さい傾向となっており、住宅規模が大きい日本海側の各県と明らかな対照をみせています。



# 「なるほど統計学園」に高等部を開校しました！

統計局では、学習指導要領改訂により内容の拡充が図られた統計学習教育に対応すべく、高校生用統計学習サイト「なるほど統計学園高等部」を平成25年4月5日に公開しました。

4月30日までのアクセス数は、41,649件と、多くの方に御覧いただいておりますが、より活用していただけるよう、今回は、各コンテンツの内容を御紹介します。

## コンテンツの御紹介

統計学習サイト「なるほど統計学園」に新設された「高等部」では、海に浮かぶ島を舞台に、「統計思考力」と「統計リテラシー」を身に付けることを目的に、様々なテーマから統計を易しく解説しています。

高校生だけではなく、大人の方も親しめるサイトになっていますので、どうぞ御覧ください。

## <トップページ>



## イントロダクション

このコーナーでは、統計的な考え方や情報化社会を生き抜くための応用力について易しく解説しています。



## 「なるほど統計学園高等部」

<http://www.stat.go.jp/koukou/index.htm>

小・中学生用学習サイト「なるほど統計学園」

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm>

先生向けサイト「統計学習の指導のために」

<http://www.stat.go.jp/teacher/index.htm>

なお、「なるほど統計学園高等部」については、統計Todayでも詳しく紹介しています。

<http://www.stat.go.jp/info/today/064.htm>

## 統計の作成・分析

このコーナーでは、問題解決のフレームワークであるPPDACに沿って、統計の企画・計画からデータ収集・分析・結論までを学ぶことができます。また、分析に必要な数学の基礎も解説しています。



## 主要統計データ

このコーナーでは、統計局で実施している調査結果を中心に、日本国内や世界の様々な統計データの探し方を案内しています。



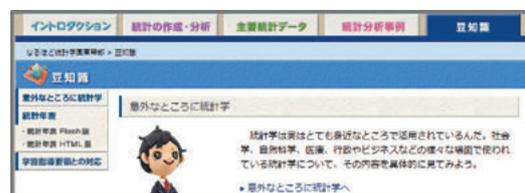
## 統計分析事例

このコーナーでは、統計分析から導き出される、興味深い様々なトピックスを分かりやすく解説しています。



## 豆知識

このコーナーでは、よく統計が使われる業界やその場面の紹介のほか、統計の発展に貢献した人々のエピソードや統計の歴史等を解説しています。



# 第61回統計グラフ全国コンクール作品の募集をしています

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されており、今年で61回目を迎えました。

このコンクールは、(公財)統計情報研究開発センター(以下「開発センター」といいます。)が主催し、総務省、文部科学省等の後援及び協賛により、10月18日の「統計の日」の関連行事として実施されています。

昨年(第60回)は、全国の小・中学生から一般の方々まで、23,879作品に及ぶ多くの応募がありました。

特に優秀な作品に贈られる総務大臣特別賞に選ばれた作品は、神奈川県相模原市立谷口台小学校6年(受賞時)の新江春佳さんの作品で、テーマは「大人になるということとは? ~18歳成人を考える~」〔第3部(小学校5・6年生の児童)特選作品から選定〕でした。

「総務大臣特別賞」を含む特選受賞作品の表彰は平成24年11月16日(金)に「国立オリンピック記念青少年総合センター」(東京都渋谷区)で開催された第62回全国統計大会の席上で、入選作品の表彰は各都道府県で開催された地方統計大会、統計功労者表彰式等の席上でそれぞれ行われました。

また、58点の特選・入選作品は、上記の全国統計大会のほか、「統計データ・グラフフェア」(平成24年10月27日(土)~28日(日)新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催)等の会場において展示されました。

今年も次のように作品の募集が行われています。皆さんの御応募をお待ちしております。

## 応募資格

- 第1部……小学校1年生及び2年生の児童
- 第2部……小学校3年生及び4年生の児童
- 第3部……小学校5年生及び6年生の児童
- 第4部……中学校の生徒
- 第5部……高等学校以上の生徒、学生及び一般
- パソコン統計グラフの部……小学校の児童以上

## 課題

課題は各部とも自由です。ただし、小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

## 規格

各部とも、B2判(仕上げ寸法72.8cm×51.5cm、用

紙は貼り合わせでもB2判であれば可)です。

## 提出先・締切日

提出先は各都道府県統計協会又は各都道府県統計主管課となります。

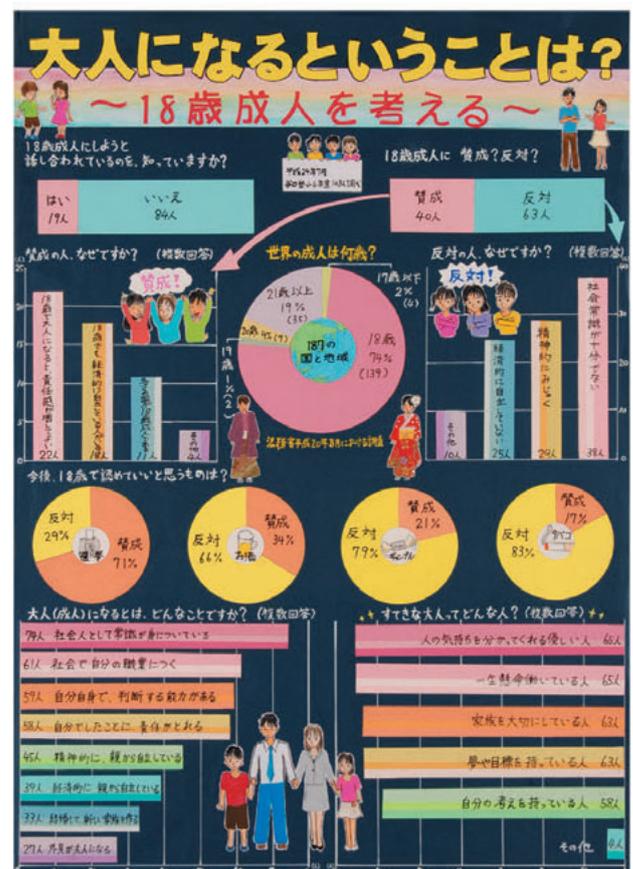
締切日は各都道府県で異なりますが、おおむね9月上旬となっています。

## 入賞区分・賞等

各部ごとに特選、入選及び佳作作品が選定され、特選の中から、特に優秀な作品に対しては、「総務大臣特別賞」、「文部科学大臣奨励賞」等が特別賞として贈られます。

## 締切日や応募方法等の問合せ先

締切日や応募方法等の詳細は、開発センターのホームページ(<http://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>)を御覧いただくか、開発センターまでお問合せください(連絡先:03-3234-7478)。



第60回総務大臣特別賞受賞  
神奈川県相模原市立谷口台小学校6年(受賞時)  
新江春佳さんの作品

# 家計調査（貯蓄・負債編）平成 24 年平均結果速報の概要

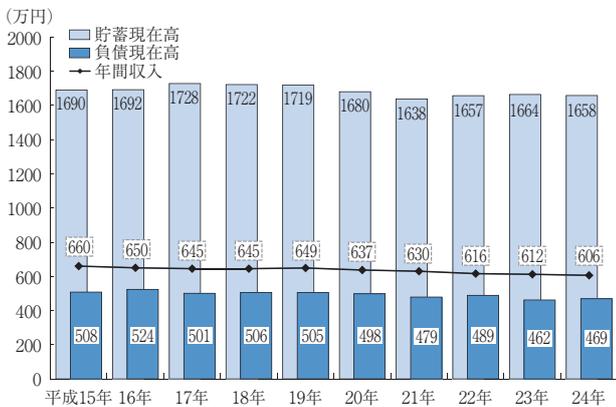
家計調査では、世帯の収入や支出のほかに貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の平成 24 年平均結果速報を平成 25 年 5 月 14 日に公表しましたので、その概要を紹介します。

## 二人以上の世帯の 1 世帯当たり貯蓄現在高は 1658 万円、負債現在高は 469 万円

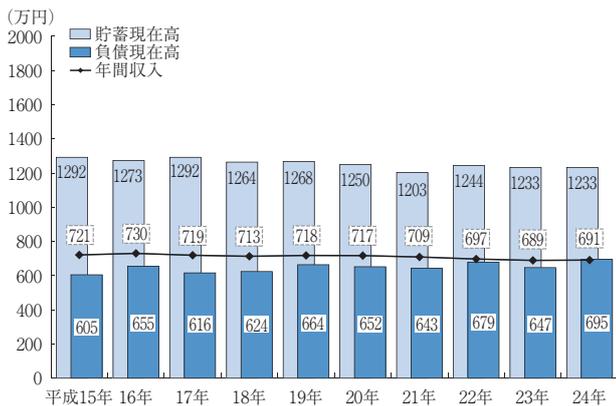
平成 24 年平均の 1 世帯当たり貯蓄現在高は、二人以上の世帯では 1658 万円となっています。一方、1 世帯当たり負債現在高は 469 万円となっています。

二人以上の世帯のうち勤労者世帯では、貯蓄現在高は 1233 万円、負債現在高は 695 万円となっています(図 1)。

図 1 貯蓄・負債現在高の推移 (二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



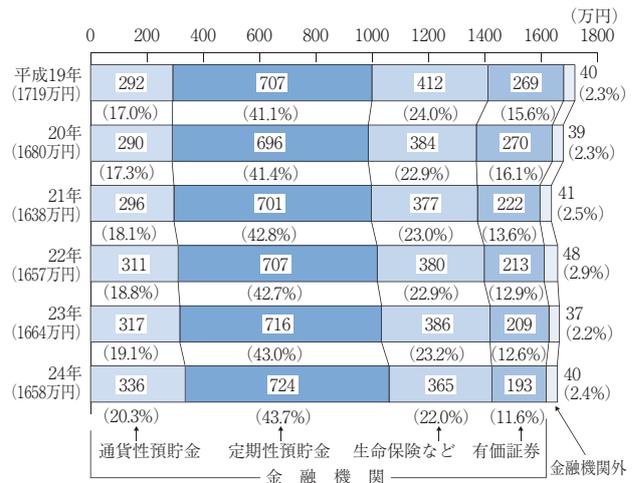
## 通貨性預貯金及び定期性預貯金は増加傾向

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に 1 世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が 724 万円（貯蓄現在高に占める割合 43.7%）と最も多く、次いで「生命保険など」が 365 万円（同 22.0%）、通貨性預貯金が 336 万円（同 20.3%）、有価証券が 193 万円（同 11.6%）、金融機関外が 40 万円（同 2.4%）となっています。

平成 19 年以降の推移をみると、通貨性預貯金及び定

期性預貯金は増加傾向となっています。一方、「生命保険など」及び有価証券は減少傾向となっています(図 2)。

図 2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移 (二人以上の世帯)



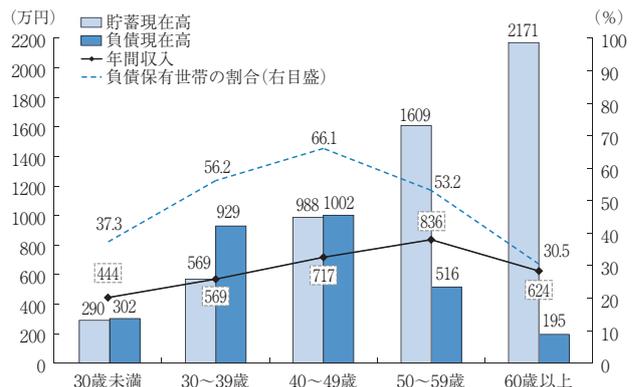
注) ( )内は、貯蓄現在高に占める割合

## 貯蓄現在高は年齢階級が高くなるほど多い

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について世帯主の年齢階級別に 1 世帯当たり貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高が多くなっています。30 歳未満の世帯の 290 万円に対し、60 歳以上の世帯は 2171 万円と、その比は約 7.5 倍となっています。

1 世帯当たり負債現在高及び負債保有世帯の割合をみると、共に 40～49 歳までは年齢階級が高くなるに従って高くなっていますが、40～49 歳をピークにそれ以降は低くなっています(図 3)。

図 3 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯) — 平成 24 年 —



# 統計データの二次利用について

## 1 統計データの二次利用とは

統計調査によって集められた調査票情報を、本来の目的とは別に、二次的に活用することを統計データの二次利用といいます。新たな統計調査を回避又は調査項目を削減することにより調査対象者の負担を軽減したり、また、学術研究等に活用したりすることが可能です。

統計データの二次利用には、従来から存在する「調査票情報の二次利用」と統計法改正を受けて平成21年度に新規に始まった「オーダーメイド集計」及び「匿名データの提供」の二種類があります。

従来の「調査票情報の二次利用」については、調査票情報をそのまま利用するため、秘密保護上の制約から利用者が相当制限されるなど、その運用については慎重に慎重を重ね行われてきたところですが、その敷居を低くすることによって、一般の方々向け等に統計データを活用しやすくしたものが、「オーダーメイド集計」及び「匿名データの提供」です。

## 2 オーダーメイド集計及び匿名データの提供

オーダーメイド集計とは、既存の統計調査で得られた調査票情報を活用して、調査実施機関等が申出者からの委託を受けて、そのオーダーに基づいた新たな統計を集計・作成し、提供するものです。

また、匿名データの提供とは、統計調査から得られた調査票情報について、調査客体が特定されないよう加工（匿名化措置：単に氏名など個体を直接識別できる情報を削除するのみならず、個々のデータの特徴から個体が間接的に特定されることがないように、地域区分や様々な属性に関する詳細な分類区分を統合して情報を粗くしたり、特異なデータを削除したりするなどの処理）を施した上で、申出者に対し匿名データとして提供（貸与）するものです。

## 3 関係機関によるサービスの実施状況

サービスの拡大を順次実施しているところであり、最新のサービス提供状況・提供窓口等下記のURLに掲載されています。詳細については提供窓口にお気軽にお尋ねください。

### 行政機関等におけるサービス状況（各府省における年度計画一覧）

<http://www.stat.go.jp/index/seido/2jiriyoun.htm>

## 4 総務省統計局における二次利用の取組

総務省統計局では、平成21年4月から、学術研究又は高等教育を目的としたオーダーメイド集計及び匿名データの提供のサービスを実施しています。平成23年度には、世帯を対象とする全ての統計調査のオーダーメイド集計を開始するなど、引き続き、サービスの対象とする統計調査の年次拡大等に努めているところです。

### (1) 利用可能な統計調査

オーダーメイド集計及び匿名データの提供のサービスで利用可能な統計調査は以下のとおりです。

オーダーメイド集計		匿名データの提供	
国勢調査	全国消費実態調査	国勢調査（年内提供予定）	全国消費実態調査
社会生活基本調査	就業構造基本調査	社会生活基本調査	就業構造基本調査
住宅・土地統計調査	家計消費状況調査	住宅・土地統計調査	労働力調査
労働力調査	家計調査		

なお、提供の事務については、独立行政法人統計センターに委託しています。

### (2) 利用実績

サービスを開始した平成21年度の利用は匿名データ20件、オーダーメイド集計4件、平成24年度は匿名データ27件、オーダーメイド集計16件となっています。

統計センターのホームページには、二次利用制度を利用した実際の研究テーマ・論文を掲載しています。

## 5 ホームページの御案内

今回紹介した内容等については、下記のホームページでも御覧になれます。興味のある方は御覧ください。

### 提供内容、利用条件等について

総務省統計局ホームページ

<http://www.stat.go.jp/info/tokumei/index.htm>

### 実際の利用方法、利用実績等について

統計センターホームページ

<http://www.nstac.go.jp/services/archives.html>

# リニューアルオープン —統計資料館の御案内—

統計資料館は、明治4年から始まった政府統計の120年を記念して平成3年10月18日（統計の日）に開設された広報展示施設です。

統計調査員などの統計関係者のみならず、統計教育推進の一助になるよう、小中学生、高校生及び大学生など若者たちへの統計情報の発信基地を目指し、以下のような展示をしています。

- 統計調査の歴史や仕組みなどをパネル等で紹介
- 統計に関する貴重な文献や大正9年第1回国勢調査の資料
- 情報処理技術遺産である我が国初の統計集計機などの古い集計機器
- 家計調査や失業率などの歴史やデータ・グラフなど

平成25年4月1日のリニューアルオープンに合わせてタブレット端末を導入し、画像や音声で分かりやすく御覧いただけるようにしました。また、企画展コーナーを新設し、四半期に一度程度展示内容を更新していく予定です。

初回は、埼玉県、富山県、三重県、長崎県の4県の統計主管課が取りまとめている統計情報を紹介しています。

皆さんの御来館をお待ちしています。

**所在地** 東京都新宿区若松町19-1 総務省第二庁舎敷地内

**開館時間** 午前9時30分から午後5時まで【入館無料】

**休館日** 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日及び年末年始

**電話** 03-5273-1187

※団体で見学される場合は、事前に下記まで御連絡ください。

【総務省統計局統計情報システム課統計図書館運営企画係】

**電話** 03-5273-1131

**メール** q-kikaku@soumu.go.jp

<http://www.stat.go.jp/library/shiryo.htm>



エントランス



企画展コーナー

統計資料館 検索

## 政令指定都市発とうけい通信⑧

## 静岡市は本当に温暖で温和なの？

⇒ どうやら本当みたいです。

## 静岡市企画局企画部企画課

転勤や結婚で静岡市に来た人から、「静岡は気候が温暖で、人柄も温和でいいよね」と言われるのですが、静岡市にずっといると、正直よくわかりません。本当にそうなのか、大都市比較統計年表から過去5年分の平均を出して、比較してみました。

## ○温暖な気候 ～ 雪はほぼ皆無～

静岡市の特徴は、冬あたたかく、雪が降らないことです。月ごとの平均気温の最低値を比べると、静岡市は2番目に高く、雪の日数は最少でした。また、日照時間は2番目に長く、風は3番目に弱いなど、冬あたたかい要素が並んでいます。快晴の日が多いので（特に冬は）、富士山がきれいに見えます。

これは、静岡市の北にそびえる3000m級の山々が雪雲や風を阻むためです。実は、静岡市の市街地では過去30年以上まとまった雪がありません。普通に暮らして



【富士山と茶畑】

いる分には、車のスタッドレスタイヤや、雪の上でもすべりにくい靴なんて不要なのです。ですから、雪が積もった場所に行くと目をキラキラさせて喜ぶのも、静岡市民の特徴です。

なお、夏も特に暑いわけではなく、月ごとの平均気温の最高と最低の差を比べると、静岡市は最少となりました。

## ○温和な人柄？ 治安は良好！

人柄が温和という統計はないので、治安について調べたところ、刑法犯の認知件数は政令市中最少でした。人口あたりで見ると横浜市・川崎市に次いで3番目に少なく、昼間人口あたりで比較すると最少でした。さらに、凶悪犯および粗暴犯の認知件数も最少（人口あたりでは3番目）で、少年犯罪の検挙人数も最少（人口あたりでも最少）です。

人柄が温和なので犯罪件数が少ないのか、あまりにも温和で犯罪を認知していないのか(!?)わかりませんが、いずれにせよ、静岡市の人は温和だという傍証にはなるように思います。

政令指定都市としては小粒な静岡市ですが、改めてとても住みやすい、いい街だと感じました。ちなみに、静岡は中心市街地（私たちは「おまち」と呼びます）が元気なことでも知られています。これからも、静岡らしい暮らしやすい街であって欲しいものです。

お茶のまち  
静岡市

【お茶のまちロゴマーク】

## 気象データの大都市比較

	月ごとの平均気温(°C)				年間日照時間(h)	平均風速(m/s)	天気日数(日)					
	最低	最高-最低	快晴	雪								
第1位	北九州市	7.3	静岡市	20.5	浜松市	2,289	京都市	2.0	さいたま市	52.8	静岡市	1.8
第2位	静岡市	7.2	川崎市	20.8	静岡市	2,169	堺市	2.2	千葉市	46.0	浜松市	4.2
第3位	福岡市	7.0	横浜市	20.8	名古屋市	2,126	静岡市	2.2	静岡市	43.8	千葉市	6.3
第4位	相模原市	6.6	北九州市	21.0	さいたま市	2,110	大阪市	2.4	東京都区部	34.6	川崎市	6.6
第5位	東京都区部	6.5	千葉市	21.1	神戸市	2,104	さいたま市	2.4	岡山市	33.5	横浜市	6.6

大都市統計比較年表より（※H23までのデータのため、熊本市を含まない）

# 最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季調済)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人	%	円	H17 = 100	兆円	円	円	全国	東京都区部	
実数	H24. 12	127,492	6228	4.3	649,544	88.8	24.2	325,492	755,418	99.3	98.7	
	H25. 1	P12746	6228	4.2	299,270	89.1	P25.6	288,934	354,287	99.3	98.6	
	2	P12740	6242	4.3	291,539	89.6	P26.5	268,099	395,795	99.2	98.2	
	3	P12736	6246	4.1	307,091	90.4	P33.2	316,166	363,271	99.4	98.5	
	4	P12734	6312	4.1	P304,669	P91.9	...	304,382	385,584	99.7	98.9	
5	P12730	...	...	...	...	...	...	...	...	...	P98.9	
前年同月比	H24. 12	—	-0.6	* 0.1	-1.8	* 2.4	-1.5	-0.7	0.8	-0.1	-0.6	
	H25. 1	—	0.3	* -0.1	0.8	* 0.3	P1.3	2.4	-0.1	-0.3	-0.5	
	2	—	0.3	* 0.1	-0.7	* 0.6	P1.0	0.8	-1.7	-0.7	-0.9	
	3	—	0.5	* -0.2	-1.2	* 0.9	P0.2	5.2	0.6	-0.9	-1.0	
	4	—	0.6	* 0.0	P0.6	* P1.7	—	1.5	0.5	-0.7	-0.6	

注) P:速報値 \* :対前月  
 就業者数の前年同月比は、平成22年国勢調査を基準として週及集計した値との比較  
 家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値  
 サービス産業の月間売上高の前年同月比は、平成25年1月の調査内容の見直しにより生じた段差を調整した値との比較

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2013年6月~7月)

### 《会議及び研修関係》

時期	概要	時期	概要
6月3日	統計研修 特別講座「中堅職員課程」開講(～6日)	7月1日	統計研修 専科「PCを用いた統計入門」(7月)開講(～5日)
10日	統計研修 特別講座「一般職員課程」(6月)開講(～13日)	8日	統計研修 専科「国民・県民経済計算」(7月)開講(～12日)
17日	統計研修 特別講座「経済統計入門」開講(～19日)	10日	統計研修 特別講座【通信】統計調査基礎課程(基礎)(7月)開講(～31日)
21日	第65回統計委員会	22日	統計研修 専科「人口推計」開講(～26日)
24日	統計研修 専科「調査設計」開講(～28日)	26日	第66回統計委員会
		29日	統計研修 専科「経済予測」開講(～8月2日)

### 《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
6月5日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成25年4月分速報)公表	7月22日	人口推計(平成25年2月1日現在確定値及び平成25年7月1日現在概算値)公表
7日	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成25年5月分公表	26日	消費者物価指数(全国:平成25年(2013年)6月分、東京都区部:平成25年(2013年)7月分(中旬速報値))公表
12日	統計でみる市区町村のすがた 2013 刊行		小売物価統計調査(全国:平成25年6月分(東京都区部:平成25年7月分))公表
14日	家計調査(家計消費指数:平成25年4月分)公表	29日	住民基本台帳人口移動報告(平成25年6月分)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成25年4月分確報)公表	〃	サービス産業動向調査(平成25年5月分速報)公表
20日	人口推計(平成25年1月1日現在確定値及び平成25年6月1日現在概算値)公表	〃	サービス産業動向調査(平成25年2月分確報)公表
27日	住民基本台帳人口移動報告(平成25年5月分)公表	30日	労働力調査(基本集計)平成25年(2013年)6月分及び平成25年(2013年)4～6月期平均(速報)公表
28日	労働力調査(基本集計)平成25年(2013年)5月分(速報)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯:平成25年(2013年)6月分速報)公表
〃	消費者物価指数(全国:平成25年(2013年)5月分、東京都区部:平成25年(2013年)6月分(中旬速報値))公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編:平成25年1～3月期)公表
〃	家計調査(二人以上の世帯:平成25年(2013年)5月分速報)公表	7月中	平成22年国勢調査に関する地域メッシュ統計(その2)公表
〃	小売物価統計調査(全国:平成25年5月分(東京都区部:平成25年6月分))公表		
〃	サービス産業動向調査(平成25年4月分速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成25年1月分確報)公表		
-----			
7月5日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成25年5月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成25年6月分公表		
12日	家計調査(家計消費指数:平成25年5月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成25年5月分確報)公表		
〃	平成24年就業構造基本調査 結果の要約及び結果の概要公表		
〃	個人企業経済調査(構造編)平成24年結果公表		

この記事引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。

**編集発行**  **総務省統計局**  
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報システム課  
 統計情報企画室 情報提供第一係  
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail r-teikyou@soumu.go.jp  
 ホームページ http://www.stat.go.jp/  
 御意見・御感想をお待ちしております。